

カリキュラム

(D)情報発信	SNSを活用した情報発信
インターネット活用	

コースのねらい	広報に用いるSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の利用方法と、ネット炎上が企業及び従業員に与える損害や被害に関する事例を通してSNSに潜む危険性を理解し、SNSの正しい活用方法と情報発信方法を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	SNSの活用	(1) SNSの特徴と仕組み 広報に用いることができるSNS全体の特徴と仕組みを説明した上で各種SNSについて解説、最新情報を伝える。 (2) SNSの活用事例の紹介 企業アカウントの運用を解説したのち、業種別にSNS活用事例を紹介し自社への広報やマーケティングに取り入れる方法を解説しながら演習をおこなう。【グループ演習】 (3) アカウントの登録□ Facebook(個人/ページ)、Instagram(個人/ビジネス)、Twitter、YouTube(公式チャンネル)、LINE(個人/公式)それぞれの登録方法について解説する。□	2.0
	2	情報発信	(1) 写真・動画の投稿 スマートフォンやタブレット、デジカメを使った写真・動画の投稿方法を説明し、手本の投稿をリサーチしながら解説する。 (2) ハッシュタグの利用 ハッシュタグの概要説明と、効果的なハッシュタグの作成を演習でおこなう。【グループ演習】 (3) 投稿のアーカイブ SNS検索(キーワード、ハッシュタグ)で投稿のアーカイブがどのように見られているか、どのようなメリットがあるかなどを検証・解説する。また実際に企業アカウントの投稿アーカイブを確認して参考とする。	2.0
	3	SNSの危険性	(1) ネット炎上と企業が受けるダメージ ネット炎上の仕組みと企業が受ける具体的な被害や損害を、過去の事例に基づき解説する。 (2) 顧客目線に立ったコンテンツ作成 企業機密や社外秘などの情報がSNSを通じてどのように漏洩するのか、またその後どのような風評被害がおこったのか、を過去の事例に基づき解説する。 (3) SNS利用の制限と利用者の自覚と責任 ネット炎上や情報漏えいを防止するためには、会社全体ですべきこと、してはいけないことなどルール化し、個人としてのSNSリテラシーの必要性を解説する。	2.0
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント
企業としてどのようにSNSを広報ツールとして活用するのか、また情報発信だけでなく「炎上」「情報漏えい」などのリスクにどのように向き合って取り組むのか、が理解・運用管理できる人材となれるカリキュラムとなっている。

受講生に用意を求める機器
スマートフォンまたはタブレット端末(カメラ機能付き)

講師から一言
SNSの活用は生活の上で必需品となってきました。企業もあらゆる広報や販促での活用が増えてきています。自社のSNSの活用をより効果的にしていくための方法などの情報をお伝えします。